北谷北部地区
まちづくり計画

保存版

北谷北部地区の住民自らが、地域活動を展開していくことにより、地域課題を解決して目指す将来像を達成し、さらに地域の振興を図っていくための指針として、ここに『北谷北部地区まちづくり計画』を策定します。

【基本理念】

「人の和」と「あいさつ」で地域を繋ぎ、豊かな未来をひらく歴史あるまち・縄文の里

目指す将来像

○子どもから大人まで垣根なく、みんなで声を掛けあう、仲のよい、元気で明るいまちにしたい

○緑豊かな自然を愛し、地域のみんなが住みやすい、きれいなまちにしたい

○地域の歴史文化や遺跡を活かして交流し、守り、継承していくまちにしたい

○みんなが健康でいきいきと暮らす、安全でアットホームなまちにしたい

地域の課題

1．地域全体で集まる場所や地域全体での交流の機会がなく、人と人の気持ちの繋がりが薄れかねない。

2．各種団体が活発に活動していても横の連携がなく、それぞれが何をしているかわからないお互いに無関心な地域になりかねない。

3．各種団体や町内会の役員のなり手がいないため、活動をつづけることが難しくなったり、世代交代が進まず活気のない地域になりかねない。

4．小・中学校ではあいさつ運動に力を入れているものの、地域内ではあいさつを交わすのは近所の住民同士に限られており、このままでは住民同士の関わりが薄れかねない。

5．PTA や子ども会など子育ての時には地域との交流があるが、その時期を過ぎると地域との繋がりが薄れ関係が失われていきかねない。

6．地域には遺跡や歴史、伝統行事といった、古くから守られてきたものが多くあるのに、ＰＲ不足や継承者がいないことから、このままでは埋もれてなくなってしまいかねない。

7．子どもの数が減少し、町内単位でスポーツ活動に取り組むことが困難になり、子どもが活発に活動する機会が失われてしまいかねない。

8．若い世代が、市街地や市外に居を構えてしまい、空家や一人暮らしの高齢者が増えかねない。

9．農業の後継者がいなくなりつつあり、このまま農業が衰退してしまいかねない。

事業の提案

次にあげる事業は、北谷北部地区の特長をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し、目指す将来像に導くための事業としてコミュニティ設立準備会において検討したものです。

実際に取り組む事業については、今後正式に発足する北谷北部地区コミュニティにおいて、この事業を一つの参考にして、さらに検討されていくこととなります。

①集う場所づくり
高齢者向けにお茶のみ会を行うなど、地域のみなさんの集まる機会と場所を提供します。

②交流イベント事業
地域住民同士が顔と顔を合わせて関係をつくっていくための交流会イベントを行います。

③あいさつ運動事業
小、中学校で活発に行われているあいさつ運動を地域の運動としてひろげ、みんなが顔の見える関係になってほしいと提案されました。

④環境整備事業
自分たちのまちが、いつまでもきれいなまちであってほしいという意見から提案されました。

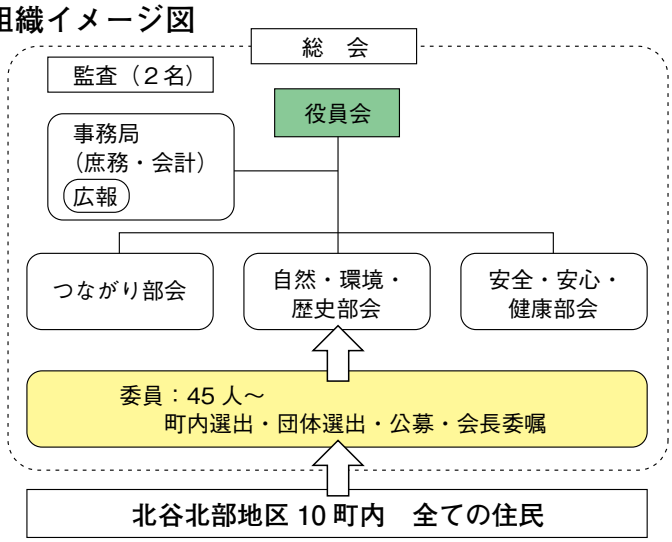
⑤病院への送迎事業（コミュニティワゴン車の活用）
お年寄りの送迎など、地域の課題を解決する事業です。

推進体制

北谷北部地区コミュニティは、地区が抱える課題を解決し、目指す将来像を実現できるまちづくりを推進していくために、次の５つをもっとも大切なポイントとして掲げています。

- 年代や地域に偏らず、幅広くみんなの声を聴き、何でも話し合える組織
- 誰でも気軽に参加できるオープンな組織
- つながりを大切にした、ゆるやかで柔軟性のある組織
- 困ったときはお互い助け合える組織
- 女性を大切にして、女性が参加しやすい組織

組織イメージ図



○部会の編成

・つながり部会
人と人とのつながりや交流を深めるための事業を担当します。

・自然・環境・歴史部会
地域内の自然と歴史を活かし、守り、伝承する事業を担当します。

・安全・安心・健康部会
地域住民のみなさんの安全を守り、健康に生活してもらうための事業を担当します。

（１）役員会

「町内代表」を主とする意思決定機関

・会長…１名
・副会長…３名（町内代表､部会長の中から互選で決定）
・役員…10名（町内代表）
・部会長…３名
・副部会長…６名
・事務局長…１名

※町内代表…各町内から1名の町内代表をコミュニティ役員として選出します。町内代表とは区長、町内役員、前区長などの町内とコミュニティをつなぐパイプ役となるものです。

（２）町内選出

町内からコミュニティ委員を選出します。選出された委員は部会員としてコミュニティ活動に参加します。

・各町内2名×10町内＝20名
（2名のうち1名以上は女性とする）
※小規模町内については人数を配慮する。

（３）団体選出

次の団体からコミュニティの委員を選出します。選出された委員は部会員としてコミュニティ活動に参加します。

【地域共通団体】　12名
・名木野小学校、南中学校、未来南杜の会、名木野保育園、育成会、保健委員、民生・児童委員、名木野駐在所、北谷公民館　各1名
・消防団第3分団　２名

【福祉施設】
・古志乃里　1名

【各町内】
・町内子ども会　各町内1名

【公募】　若干名
・自らすすんでコミュニティ活動に参加したいという人を公募します。

【会長委嘱】　若干名
・この他に、コミュニティ活動に必要なこれぞといった人を会長委嘱として委員に選出します。

計画策定までの経緯

●地区内 10 町内で地域コミュニティ懇談会を開催
（H22.6.15 ～ H23.2.7）

●第１回北谷北部地区コミュニティ設立準備会
（H23.3.10）

・オリエンテーション
・自己紹介を兼ねた、北谷北部地区の好きなところ、気になるところを発表

●第２回設立準備会「まち歩き」（H23.4.17）

・北谷北部地区のまち歩きを行い、地域の歴史や伝統、今の現状の再発見
・ガリバーマップの作成をし、北谷北部地区の宝物と地域課題について考える

●第３回設立準備会（H23.5.12）

・まちづくりの理念について話し合い

●まちづくりの理念検討会（H23.6.3）

・まちづくりの理念案の作成

●第４回設立準備会（H23.6.15）

・まちづくりの理念について再度話し合い

●第５回設立準備会（H23.6.30）

・地区の現状把握と未来予測
・このまま伸ばしていくと「～なるだろう」という可能性的将来像(+)と、このまま放って置いたら「～しまいかねない」という成り行き的将来像(－)について話し合い

●第６回設立準備会（H23.7.28）

・理念や地域の将来像に対応して、実際に行う事業を検討

●第７回設立準備会（H23.8.26）

・活動団体の活動報告と課題について報告
・地域コミュニティで大切にしたいことの話し合い

●第８回設立準備会（H23.9.22）

・委員の選出基準、組織図について話し合い

●先進地視察

・「亀田東小学校地区コミュニティ協議会（新潟市江南区）」（H23.9.24）

●第９回設立準備会（H23.10.13）

・委員の選出基準、組織図について

●組織検討会（H23.10.26）

●第 10 回（最終回）設立準備会（H23.11.11）

・「北谷北部地区まちづくり計画」　策定

●町内を対象に北谷北部地区まちづくり計画報告会
（H 23.12.19 ～）

・10町内6会場で報告

●「北谷北部地区まちづくり計画」パンフレット全戸配布（平成 24 年）

●地域コミュニティ組織発足予定（平成 24 年）

●北谷北部地区ふるさとセンター設置（平成 24 年）

設立準備会委員名簿（五十音順・敬称略）

【メインアドバイザー】長谷川美香、安田文子
【ファシリテーター】北村陽子、下村靖、田中満、明歩谷英樹、若杉リツ
【準備会委員】池嶋利喜夫（緑町１区）、伊藤ヒデ（月見台２丁目）、稲田禧久蔵（名木野町）、井上浩憲（双葉町２区）、植田礼子（双葉町１区）、梅本清（月見台２丁目）、江田孚（月見台２丁目）、江田都（名木野町）、大石千鶴子（緑町２区）、岡部淳（名木野駐在所）、岡村勝也（明晶町）、岡村隆司（熱田町１区）、斧田愛子（下新町）、木原良三（双葉町２区）、倉井肇（名木野小学校ＰＴＡ）、栗原正治（熱田町２区）、牛腸正（下新町）、小林信子（保健委員）、笹川陽一（双葉町１区）、佐藤千里（緑町２区）、渋谷貞志（双葉町１区）、城英康（消防団第３分団）、武田直人（青少年育成会）、竹中幸子（熱田町２区）、土田寿一（緑町１区）、永井毅人（名木野小学校）、長藁大輔（消防団第３分団）、長藁のり子（下新町）、南波正秀（明晶町）、南波寛子（明晶町）、坂内裕二（緑町２区）、平尾哲弥（双葉町２区）、藤崎庄一（北谷公民館長）、星野正和（消防団第３分団）、星野美和子（保健委員）、丸山忍（緑町２区）、宮島正明（熱田町１区）、村上由美子（東部民生児童委員）、村田啓助（熱田町１区）、矢澤春夫（熱田町２区）、山崎綾（緑町１区）、山田美智子（名木野町）

瑞祥橋
・途中から曲がっているので、改修工事に期待。
・車が多く危ないので、歩道ができることを祈っている。

刈谷田川

熱田町2区コンテナ集会所
・世界におそらく一つしかない！

熱田町

下新町

双葉町

名木野小学校
・土手の桜並木がすばらしい。その下には見附市内の各小学校が作成したレンガパネルがあるが、草に隠れてもったいない。
・名木野小の草薙龍の伝統行事をもっと広めるべき。
・太陽光パネルがあり１時間に20kw発電できる。
・ヤギが２頭いるが、なかなか顔を見せてくれなかった。

名木野小学校

小丹生神社
・小丹生神社の建築は室町時代の様式を取り入れられている。歴史は宝物だ！！
・300年以上続く「太々神楽舞」は12座ある。
・以前は、たくさんあった木々が切られていて寂しい。

みつけワークス
・てんぷら油を軽油の代替にしたり、使った割り箸を紙に再生している。

緑町

緑葉公園
・木材チップは子どもにやさしくとても良い公園だが、火災の心配は大丈夫？
・子どもからお年寄りまで交流の場になることを期待します。

南中

名木野町

グリーンホームふたば
・地域の茶の間。ボランティア精神がすばらしい！
・パッチワークや広告紙で作ったのれん、ゲームなどなんでも手作り。
・ボランティアとはいえ、支えている人にもなにか支援ができるとよいのでは。

古志乃里
・地区の総会に利用しようかと思う。
・サロンのように地域の方が出入りできるなど、地域との交流があるとよいと思う。
・老後はやっぱりここかな！

保存したいこと
・長岡藩の和田御蔵と和田河戸
・栃鉄の線路敷（旧停留所跡）
・旧刈谷田川の旧河川敷
・ヤマタノオロチ伝説

耳取遺跡
・土器や石器等が多く発見された。
・地域の宝物として後世に残し、市の観光にも発展させたい。
・遺跡へ向かう途中にきれいなカタクリの花がたくさん咲いていた。

北谷公民館

良かったところ
・山の上から眺めた田んぼの広さと、遠くの風景が新潟らしくてすばらしい。
・町内に住んでいても初めて見学したところばかりで感動しました。
・北谷地区の中に見附市としての大事な遺跡があることを知った。
・明晶神社
・山、川、田、畑が眺められて気持ちがよかった。
・嶺崎橋からは粟ヶ岳しか見えないがとても美しい。

まち歩き　★ガリバーマップ★

小学校の皆さん
クリーン作戦ご苦
労様でした!!

ドッグラン
・河川敷にドックランを発見！
犬を飼ったらぜひ利用したい。

鳴鹿橋（めいろくばし）

通学路
・冬場の雪や、観音坂の車がスピードを出しすぎていたりと小学校通学路が危ない。

ヘルメット地蔵
・観音坂の旧道にてヘルメットをかぶっているお地蔵さんを発見！

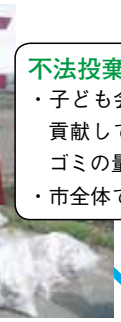
総合
体育館

月見台

月見台オープンガーデン
・月見台町内の住宅に庭のきれいな家が２軒あった。６月頃にはバラが見頃。
・ウォーキングコースに入れるとよい。

明晶町

不法投棄防止の鳥居
・子ども会の手作りで地域美化に貢献している。捨てられているゴミの量が１/３になった。
・市全体で取り組んでは？



池之内町

見附初の学校
・明治５年に北谷教育所としてできた学校発祥の地。
・明晶町は明治５年に和田村と時水村が合併してできた。

江戸相撲の雄
・瀧の波彌三治碑。
・車では素通りしていて気付かず初めて知ることができた。

空地の再利用
・月見台と双葉町の団地跡地が、今現在は平地で空いているのでもったいない。
何か利用方法を考えよう！

8

名木野神社
・旧名木野神社跡には極楽浄土に向かっている塚があるかも？

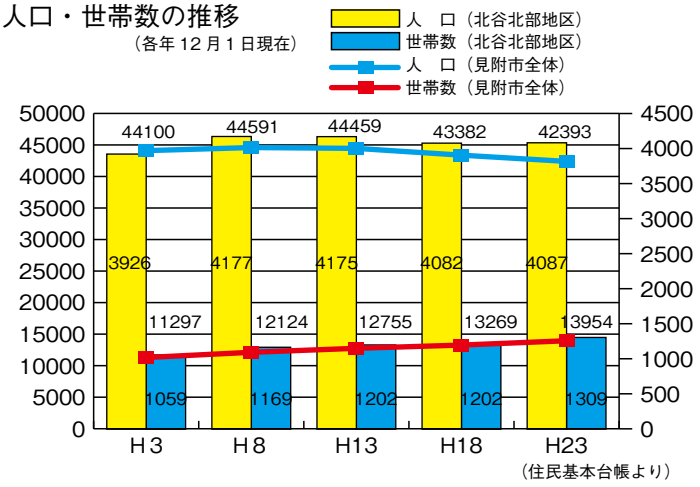
秘湯なぎの湯
・120～130年の歴史があり、皮膚病を治す効果がある。
・車で行くには道が悪いので改善してほしい。
・近いうちに行きたい。

カタクリの花

気になること
・河川敷にゴミが多かった。
・日頃、ゴミを燃やしている人がいる。
・熱田町2区から開運橋につながる歩道は草刈が必要。
・観音坂から鳴鹿橋を望む風景。昔から一変していて、良いのか悪いのかわからない。

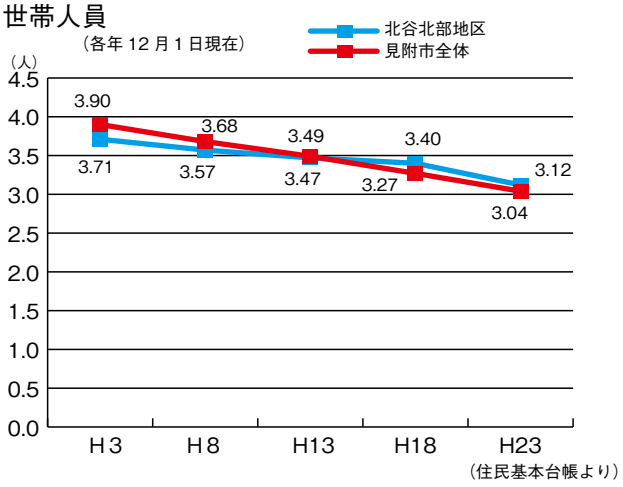
北谷北部地区データ

人口・世帯数の推移
（各年 12 月 1 日現在）



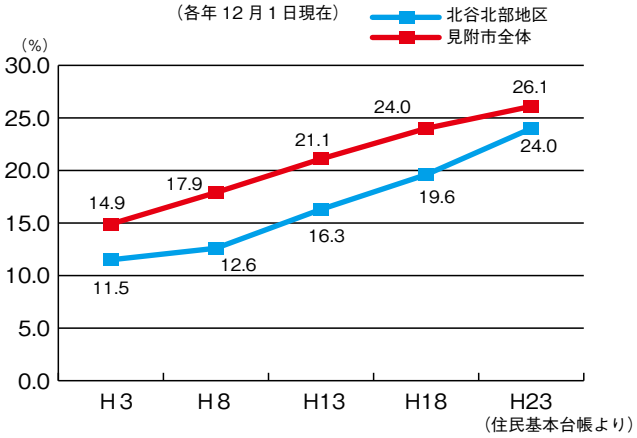
（住民基本台帳より）

平均世帯人員
（各年 12 月 1 日現在）



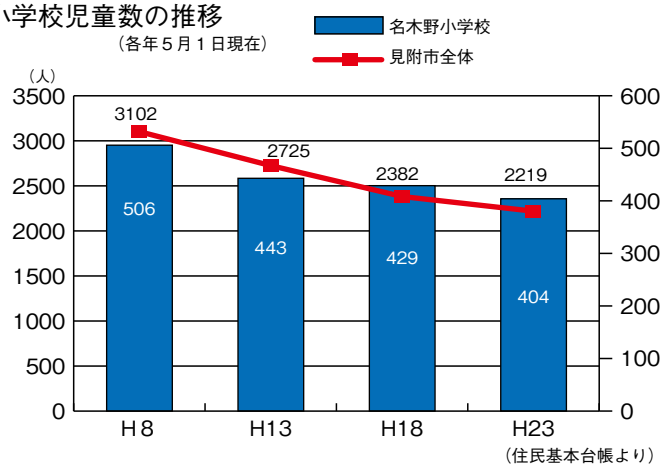
（住民基本台帳より）

高齢化率（65 歳以上の人口／全人口）
（各年 12 月 1 日現在）



（住民基本台帳より）

小学校児童数の推移
（各年 5 月 1 日現在）



（住民基本台帳より）

65 歳以上のみの世帯（平成 23 年 12 月 1 日現在）

見附市全体	65 歳以上のみの世帯	2461 世帯	6 世帯あたり 1 世帯
	1 人暮らし世帯	1174 世帯	12 世帯あたり 1 世帯
北谷北部地区	65 歳以上のみの世帯	245 世帯	5 世帯あたり 1 世帯
	1 人暮らし世帯	131 世帯	10 世帯あたり 1 世帯

（住民基本台帳より）

表紙画　池嶋利喜夫さん（緑町 1 区）

見附市全体との比較

人口については、市全体では減少傾向ですが北谷北部地区は横ばいの状況です。世帯数は増加しており平均世帯人員は市と同様に減少しています。高齢化率は20年前と比べると倍以上と急激に上がってきていますが、高齢化率自体は市に比べて低くなっており若い方の多い地域といえます。

65歳以上のみ世帯も市全体と比較すると少なくなっています。

北谷北部地区コミュニティ設立準備会

発行元 / 北谷北部地区コミュニティ設立準備会

発　行 / 平成 24 年